
幼馴染？に振り回されて・・・。～中崎 龍の場合～

雷

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幼馴染？に振り回されて……。～中崎 龍の場合～

【Nコード】

N7010Z

【作者名】

雷

【あらすじ】

里奈と龍幼き頃は親友同士だった2人……。しかし里奈のお父さんの都合により里奈はアメリカへ……。そしてそれから10年後……。2人は明星学園で再開する！！！そして里奈は……。

俺の日常

（10年前）

里「龍君泣いちゃダメだよ……。里奈も泣きたいけど我慢する……。」「

龍「嫌だよ里奈ちゃん行かないで行かないで！！！！！」

里「龍君里奈ね行かなきゃなんだ……。龍君とは離れたくないけどお父さんについていかなきゃ……。」「

龍「嫌だよ。だってもう会えないんでしょ？」

里「そんなことないよ行きてればきつと会える……。龍君のところに帰ってくるから約束しよ！！！！！」

龍「うん。分かった」

龍・里「ゆびきりげんまん　嘘ついたら　針千本のくます　指切った」

里「またね龍君！！！！」

龍「うんまたね里奈ちゃん！！！！」

.....

龍「ふわあまたこの夢かぁ……。」「

あれから何年たっただろう……。里奈ちゃんと別れてから。。。

龍「もう10年たつよ里奈ちゃん。。。」

おれは中崎龍15歳今日から晴れて明星学園の1年生になる。

顔はいい方でも彼女は今まで誰もいない。

それは俺には初恋の子が居るからである。。。

その子は今どこで何してるか分からないけどこれだけは言える。

また会える。

と。。。

龍母「龍~~~~！！起きなさい！！！！！！じゃないとお母さんが龍を

襲うからね?」

龍「……!?!?起きてるから!!!!朝から変なこと言わないで!!!!」

今のは俺の母。俺の家は兄ちゃんと俺、お母さんお父さんの4人暮らしだ。

龍母「そう残念なの……。龍の成長っぷりお母さん見たかったのに……。」

龍「お母さんノノ!!!!朝から何考えてんの!?!」

龍母「龍君の　　やxxxxxxxxと龍君と　　すること?」

ザワアアアアアアアアア……。

やばい今何かお母さんを全否定したくなった……。

龍父「龍もママもそんな冗談言つてないでさっさとしたくしたらどうだ?」

お父さんありがとう。あなたは神だ!!!!!!

龍母「パパ!!!!冗談だと思ってるの!?!私はこんなに龍を愛してるのに……。」

龍父「俺のことは!?!」

龍母「えっ金稼いでくれるゴミ?」

龍父「ひどっ!!!!!!俺の扱いこの家だとそんな低い!?!」

龍母「ええっそうよ……。だってきつと龍や優の方があなたより

デカイと思うし　　上手そうだもんww」

龍父「……。」

父さんどんまい!!!!てか朝から下ネタやめてほしい……。

はぁ……。とりあえず学校行くかな

龍「じゃあ行つてきまあす!!!!!!」

父母「「行つてらっしゃい」」

このときの俺あいつが帰ってくるなんて微塵も思っていなかった

再開？

入学式そうそれは俺にとってはどうでもいい式

???「1年生のガキども!!!!元気はあるか？」

.....

???「うんじゃあ3年の野郎ども元気はあるか!?!?!」

3年生「「「「おおおおお」「」「」」

???「よろしい。2年の奴ら元気はあるか!!!!!!」

2年生「「「「当たり前だああああああ」「」「」」

???「んじゃあ1年生元気あるか!!!!!!」

.....

???「元気が足りん!!!!!!この学校の校訓は”元気”やる気”友情”の3つだああ

あ!!!!!!ただ学校に来てつまらなく勉強ばつかじゃ面白くないだろう?この学校はそれ乗り越

えるために年に10やそこらしか行事がないんじゃない?1年中行事だらけだあああ!!!!!!

驚いたか?この学校は勉強するとこじゃない!!!!遊ぶとこだ!!!!!!たとんと

学べ!!!!!!以上2年生徒会長大野峰桜!!!!!!」

何この学校・・・。

色々突っ込みたくなるよ!!!!!!

??「いい言葉ありがとうございました”元気”やる気”友情”の3つだけでなく”愛情”も持って私たち1年生はこれから明星学園で過ごしたいと思います。1年生代表結城里奈」

えっウソだろ?今結城”里奈”って言わなかった・・・。

里奈ってもしかしてのもしかして?

うそでしょ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

あの頃より可愛いじゃん!!!!!!!!!!

里奈「あつ後この学校にいるはずの中崎龍君って知りませんか？知ってたら教えて下さい!!!!」

えっ!!!!!!!!?

俺探してんの!!!!

樹「おい龍お前の事じゃないか？」

龍「いやいやないだろそんなこと……。」

樹「お前の言ってた通り”結城里奈”で”帰国子女”で”中崎龍”を捜してんだろ？だったらあの子じゃねえさ？」

龍「いやそんなことないって……。第一ちっちゃいころの約束なんて覚えてるわけねえだろ……。」

樹「確かにね……。」

このときの俺は今から起こることを何1つ予想出来てなかった!!!!!!
続く!!!!!!!!!!

えっ何で俺こんなこと言ってたんだろう？

あの子とクラス一緒！？（前書き）

うわぁ登場人物がめっちゃ増えやがった・・・。

核の・・・

しくった書くの

めんどいんで後から自己紹介入れます（+o+）

あの子とクラス一緒！？

ふう入学式はものすつごく疲れたああああ（+o+）
こんなことになるとは思わなかったのに・・・。

そうそれは10分前・・・

謎の”帰国子女””結城里奈”の発言

「あつ後この学校にいるはずの中崎龍君って知りませんか？知ってたら教えて下さい！！！」

により周りから質問攻めを受けていたのである・・・。

龍「教室ではこんなことないよなあ・・・。同じクラスだったらどうしよう樹助けてくれ・・・。」

樹「いやいや俺は無理さ。お前と同姓同名の奴がなんたつてあの”帰国子女”で”かわいくて”しかも”入試トップ”でうかった女の子がさがしてるんだぜ？お前を恨みなくなるさ・・・。」

龍「でもさでもさ何で俺？なの！？」

樹「さあそれは分からないさ。本人に聞いてみるさ？」

龍「はあ・・・。それだけは避けたいなあ・・・。」

樹「ため息ばかりついてるとやつと手に入れかけてる幸せが逃げるさ！！！！さあ幸せを求めていざ教室へ！！！！！」

お前のそのノリどうにかなんねえの？？？

樹「今のノリは正直恥ずかったさ／＼／」

恥ずしいなら言うなよ！！！！！！

龍「えつと俺は確か1年3組だったけ・・・。樹は？」

樹「俺は確か1年3組だったはずさ・・・。」

龍「またお前と同じクラスかよ！！！！！！！！！！！」

樹「はあ・・・。まっでも知らない人だけより知ってる人がいた方が楽しいもんさ！！！！！」

龍「そうだな。」

[illegible]

そのころ教室（１年３組）ではこんな雰囲気が流れていたのである。何故ならそこには”帰国子女”で”かわいくて”しかも”入試トップ”でうかつた女の子こと結城里奈がいたからである・・・。

誰もが喜び喋りかけたい気分であつた・・・。

しかし誰も喋りかけれずにいた・・・。

何故ならこのクラスには結城里奈が探している”中崎龍”がいるものしくはくるからである。

そんな中一人の男子生徒は結城里奈に喋りかけて言った……
「ねえねえ君が結城里奈さん？」

里「そうですけど……。あなた誰ですか？」

「俺中崎龍って言うんだ!!!」

里「ホントですか！！！！！！あなたが龍君！！！！！！」

龍（偽）「おう俺が龍！！！！！」

里「じゃあ10年前の約束覚えていますか？」

龍（偽）「おう……。」

里「どんな内容でしたか？」

龍（偽） 「……。そんなの忘れたよ……。」

里「忘れたんですか・・・。忘れないように2人で同じもの買ったのに・・・。それなのに忘れたんですか!?!?!?」

龍（偽）「おっ覚えているよ……。」

里「んじゃあ言ってみて下さい」

龍（偽）「確か君とあつて君と付き合つたかな．．．。」
里「ぶつぶう！。残念外れですよ、柳海斗君．．．。」

|-
-
;
)
?

「君と違うんですよ柳君」

海「すごいですね……。」

「いからね？」

[illegible]

•
•
•
•
•
•
•
•
•
•
•
•
•

[illegible][illegible]

龍「えっと何この空気……。樹どう思う……。」

?

龍「12・・・。てことはどうせお前は11だろ？」

樹「あつたりい!!!すげえな前はエスパーか!？」

分かるよ普通に」

樹「確かに納得さ……!!んじゃあとりあえず席着こうぜ」

「ねえねえあの二人かつこよくない？」

「だよねえ〜〜〜。」

よねえ」

「ああこのクラスでよかったああああああ」

キンコーンカーンコーン

とかありえねえ」

要「これからこのクラスの担任になる斎藤さいとう 要23歳だかなめ・・・。若
いからって惚れんなよ!!!」

要「おしめんどいから1番から名前言っていけ」

「1番の赤坂裕太だよろしくな」

「2番の桜さくら 麻衣まいっていう。女みたいな名前だけどよろしく。」

•

.....

「11番の中崎なかさき 樹いつきつて言うんさ。よろしくしてさ。次の奴と奈美とは幼馴染さ。仲良くしてさ。」

女子（（（語尾が”さ”とかかわいい？）（（（

「12番の中崎なかざき龍りゅうって言う。樹と奈美と幼馴染。よろしく。」

女子（（（クールなところがカッコいい！！！！！！）（（（

•
•
•
•
•
•

-
-
-
-
-
-

-
-
-
-
-
-

要「はい男子はほとんど終わったんじゃないやあ次女子いこう!!!後ろからね!!!」

里「えええええええ！！！！しょうがないなあ・・・。私は結城
里奈　出席番号１５番の龍君は私のものだからだれも手出さないで
ね!!!!!!!!!!!!」

えっと今何ていいました？

もしかしてこの子には俺のことばれてたり……。

要「おもしろいなおし柳海斗」

海「あっはい!？」

要「お前中崎龍と席かわれ！！！！」

はい？今このお方なんでしょうか？

要「おまえもだ中崎龍さつさと席移動しろ！！！！」

・・・ええええええええええ。俺の学園LIFEが・・・。

里「ありがと先生？」

樹「龍どんまい・・・。俺ももうすぐそこ行くから」

要「んじゃあ次の奴」

奈「私は結城奈美って言います。龍と樹とは幼馴染で樹は私のものです！！！！誰にもあげません！！！！」

・・・ああこいつはこんな奴だったな・・・。

龍「樹ドンマイ」

要「おしつ樹もさつさと結城奈美の横と交換しろ！！！！ここに2組のカップル誕生だな！！！！」

樹・龍「カップルじゃねえよ！！！！」

奈「いっちゃん。私のこと嫌いの？グスンツ（<―>）いっちゃんが好きなら諦めるよ」

涙目で言ってます

樹「そんなことないよ／＼奈美のことは好きだよ／＼」

里「龍君私にあんなことやこんなことしたのに私のこと嫌いだったの？」

涙目です！！！！

龍「いやきらいじゃないけど・・・。てっ俺何もしてないよね！？」

里「チツばれたか・・・。」

龍「小声で何言ってるの！？ちょっと怖いよ（・・）」

里「龍君は私のこと嫌いの？」

龍「うっ／＼別に嫌いじゃないよ／＼」

里「じゃあ好き？」

龍「それは／＼まあ好き／＼かな？」

ギャラリィ「ヒューヒューヒューお熱いね！！！！」

「」

龍・樹「てっちがーーーーーう！！！！」

要「こらこらいちゃいちゃするな・・・。俺も彼女欲しいのに・・・

。もう残りの奴らは今度自己紹介させっから考えとけよ！……！以
上解散！……！」

全員「……さようなら！……！……！」

こうして波乱の第1日は幕を閉じたのであった

あの子とクラス一緒！？（後書き）

いやぁ長くなっちゃいましたw w

読者のみなさんすいまそんー（・ー・）ー

こんな話ですがコレカラモヨロシクオネガイシマス！！！！！！

自己紹介

なかさき りゅう
中崎 龍

この話の主人公。10年前結城里奈とある約束をしている。その結城里奈は初恋の相手で今は同棲しておりクラスメイトである……。兄弟は兄が一人いて優とかいてすぐると読む。

趣味は運動をすること両親とは入学式のあとから別居している。

両親は健在、女子に以外にモテている……。

1年3組に在籍しており出席番号は15番。

誕生日は4月10日入学式の二日後である……。

ゆづき りな
結城 里奈

この話のヒロイン？10年前の約束をはたすため中崎龍のもとへと帰ってきた……。

両親とはケンカ中しかし毎月大量のお金が送られてくる……。

龍コンのため他の男子にはめがいかないところが盲点である……。

1年3組に在籍しており出席番号は57番

誕生日は12月7日

なかさき いつき
中崎 樹

主人公の親友であり幼馴染。さきとさきのためよくいとこや親せきと勘違いされるが実際は幼馴染。今は彼女募集中らしいが好きな子はいららしい……。

幼馴染に振り回されて中崎 樹の場合の主人公である……。

両親は幼いころに他界していて今は伯父の資金により一人暮らし？をしている……。

龍と同じくらいモテている。

1年3組に在籍しており出席番号は14番。

誕生日は2月9日。

語尾にさがつく

結城 奈美 ゆうき なみ

主人公の親友？であり幼馴染。樹のことが好きであり樹の好きな人を詮索中・・・。

ヒロインこと里奈とは席が近いためかすぐ仲良くなった・・・。

幼馴染に振り回されてゝ中崎 樹の場合ゝのヒロインである・・・。
両親とは一緒に暮らしていたがケンカして樹の家に逃げようとして
いる・・・。

いつコンのため他の男子には目がいかないのが盲点である・・・。

1年3組に在籍しており出席番号は56番

誕生日は7月15日

俺の誕生日（前書き）

龍の誕生日です!!!!!!

話はまだ4月・・・。

リアでは今は12月・・・。

ずれまくりですねwww

まあそんなこんなで5話目をどうぞ!!!!

俺の誕生日

4月10日・・・。

そうそれは俺の誕生日！！！！

今日から俺は16歳だ！！！！！！

ふっ俺の学年で俺より早い奴はそうそういない・・・。

もうテンションMAXだぜ！！！！！！

って俺こんなキャラじゃねえええええよ！！！！！！

はぁ・・・。

何故誕生日なのにテンションが低いのかって・・・。

それはなぁ・・・

龍「今日学校休みじゃん！！！！」

普通おかしいでしょ！？

入学式の次の日が土曜日・・・。

そして俺の誕生日は日曜日・・・。

おかしいだろ！？

そろそろ部屋から出ないとあの変なテンションの母がやってくる・・・。

。

優「おゝい龍お前今日誕生日だろ・・・。これやるよ・・・。」

龍「おっありがと。」

優「誕生日プレゼントあげたから今日学校ないことすねんなよ・・・。

。

さすが兄というべきかよくわかってらっしゃる！！！！

兄ちゃん大好き！！！！！！

龍「これ何が入ってるの？」

優「ううん？」上司と会社で」と部下と会社で」が入ってる・・・。

。俺の好きな作者川口裕太作だからちゃんと読めよ。」

龍「ありがと・・・。ってなるかボケ！？」

優「冗談・・・。ホントはこっち・・・。」

うん？今度はでかいな・・・。

何が入ってんだろ？

龍「これ何？」

優「うん？自分であけて確かめてみる・・・。じゃあな・・・。」

龍「・・・うん分かった・・・。」

何入ってんだろ？

さっきの奴みたいに官能小説かな？

だったらまじ泣いてやる・・・。

ガサツゴソツ

・・・
・・・
・・・
・・・
・・・

龍「服だ！！！！！！兄ちゃんやっぱり分かってくれてるなあ・・・。」

はあ兄ちゃんやっぱり大好きwww

それより下に降りよ

お父さんとお母さんはきつと変なやりとりをしてるんだろなあ・・・。

龍「おはよう」

父・母「Happy birthday 龍！！！！！！」

うわっテンション高っ！？

龍「あっありがと・・・。」

父「それより龍準備できたか？」

・・・？

父「その調子じゃあ何の準備が分かってないなwww」

??????

母「今日から龍君にこの家出て行ってもらいまあす？」

!!!!!!!!!!!!!!

龍「ええええええええええええ！？俺なんか悪いことした？実は父

さんと母さんと家族じゃなかったりとか？」

母「実はそうなの？」

龍「えつまじで……。」

やばい泣けてきた……。

兄ちゃんがもの凄い目でこっち見てる……。

優「龍……。薄々感じてたけど龍って馬鹿？」

龍「えっ!？」

優「今さっきの嘘にきまつてるじゃん……。」

今さっきのって官能小説？

優「それもだけど……。親子じゃないってやつ……。」

龍「えっ!？でも優兄と俺にてたくない？」

優「周りから見たらにってるらしいよ……。」

龍「まじで!？優兄大好き(兄弟として)!!！」

優「うん。知ってる……。」

母「はいはいそれはおいといて……。今日からこの家にはお父さ

んとお母さんで済みます!!！」

龍「えっ?俺と優兄はどうするの?」

母「うん?日向壮に住むのよ。」

龍「日向壮?」

母「そう日向壮。今住んでんのは確か龍のお友達の樹君とかね」

龍「樹と同じとこ住むの!？」

母「そうだけど不満だった？」

龍「いやそうでもないけど……。」

母「あっちなみに樹君ともう一人の住居者は知ってるから後優も知

ってたよね？」

優「うん……。」

龍「優兄何で教えてくれなかったの?!」

優「誕生日にいったほうがサプライズっぽくていいから……。」

龍「そっそっか……。それより優兄と一緒に部屋に住むの!？」

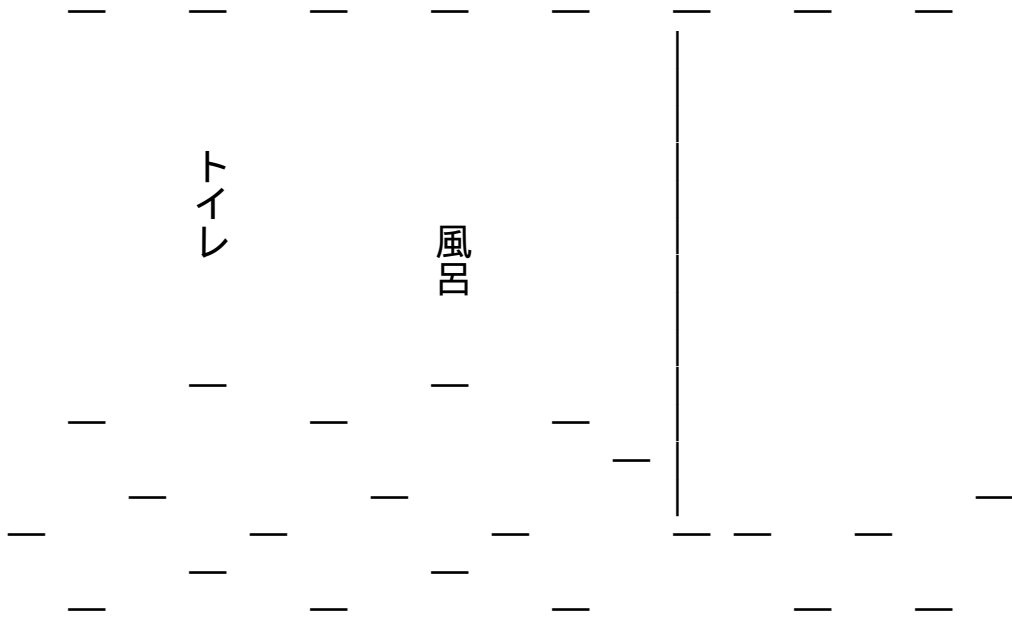
母「いいや……。まず日向壮は4つの部屋から出来てるの……。」

「
龍「日向壮って家みたいなの？」
母「いいから聞いてて絵で描くとこんな感じ……。」

龍 樹・？

優

台所



母「まあこんな感じで風呂とトイレは別よ!!!」
龍「えつまってこれってさ一緒の部屋じゃないって言ったよね!？」
母「"部屋"は別々でしょ？住むところは一緒でも」
龍「そういう!!!てかこれルームシェアだよね!？」
母「まあそうよ。言い方替えたら"同棲"www」
龍「はあ。。。」
母「とりあえず日向壮に行きなさい!!!!!!」
優「龍行くぞ。。。」
龍「分かった。。。」

このときの俺はまさかあいつまで日向壮に向かっ
てるとは思わな
った・・・。

続く！？

続かせるなあ！！！！作者のばあか！！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7010z/>

幼馴染？に振り回されて……。～中崎 龍の場合～

2011年12月29日20時49分発行